

『食と健康の高安全化 -殺菌、滅菌、消毒、不活化、有害物除去技術-』発刊記念！

植物工場養液栽培における 病害の危険性と殺菌技術

植物工場はそのクリーンさと安全性が大きな特徴のひとつとされています。しかし現実には、植物工場であっても養液栽培における病害の発生は排除できません。養液栽培であるが故に、病原菌が発生すると装置全体に広がり収穫量が大幅に落ち込む危険性を残しています。

本セミナーでは、養液栽培の病害対策をリードしてきた大阪府立環境農林水産総合研究所の草刈真一氏にその実態と対策についてを、新たな効果が検証されているオゾンマイクロバブルによる殺菌については玉川大学の玉置雅彦氏にお話しいただきます。開放型、完全閉鎖型問わず植物工場を計画の方々多数のご参加をお待ちしております。

日時 2013年2月20日(水) 13:30~16:40
会場 ゲートシティ大崎(東京・大崎駅すぐ) B1階 ルームB
受講料 21,000円(税込) *資料代含む

講師

草刈 真一 氏 (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 経営企画部 企画広報課

大阪府における病害防除、特に、養液栽培の病害対策を研究してきた。大阪府下のメーカーと銀を農薬としてはじめて登録した他、銀を使った抗菌フィルターを開発、オゾン水、電解酸性水の農業利用を開発してきた。現在、静電気を利用した害虫、病原菌の補足装置について近畿大学、カゴメと共同開発している。

玉置 雅彦 氏 明治大学 農学部 アクアサイエンス研究室 教授 黒川農場長

プログラム

第1部 養液栽培における病害とその対策
 草刈 真一 氏 (13:30~15:00)

本邦で発生する養液栽培の病害について、病徴およびその病原菌について解説します。養液栽培の病害の防除対策として、病原菌の発生様態、伝染、被害発生を防止するための対策、培養液中の病原菌の殺菌技術について解説します。

- 養液栽培で発生する病害とその対策
 - 養液栽培に発生する病害
 - 装置別の病害重要度
 - 循環型、開放型と病害発生
 - 培養液環境と病害発生
- 根腐病等水生菌類による病害の伝染と防除対策
 - 養液伝染性病害の蔓延機構
 - 培養液の殺菌技術
 - 防除資材「オクトクロス」
- 施設の殺菌方法
 - 養液栽培で使われる表面殺菌剤
 - 熱を使った殺菌法
- 安全な養液栽培をするためには(圃場衛生の考え方)
 - 衛生微生物による生産物の汚染
 - 安全な生鮮野菜を生産するために

第2部 植物工場におけるオゾンマイクロバブルを用いた培養液中の植物病原菌の殺菌と効果
 玉置 雅彦 氏 (15:10~16:40)

養液栽培中の植物病原菌に対するオゾンマイクロバブルを用いて殺菌する効果について、実証試験等について演者のこれまでの実験結果から解説します。

- 養液栽培における殺菌の重要性
 - 材料・施設の殺菌法
 - 培養液の殺菌法
- オゾンマイクロバブルを用いた殺菌
 - マイクロバブルの発生方式
 - オゾンマイクロバブルの殺菌効果
 - 気体の種類の違いと殺菌効果
 - 培養液中の肥料組成の変化
- キレートの利用
 - キレートの利用と肥料組成
 - キレートの利用と培養液のpH
 - キレートの利用と殺菌効果
 - キレートの利用と植物の生育
- 溶存酸素と植物の生育
 - オゾンマイクロバブルによる溶存酸素濃度
 - 空気マイクロバブルと植物の生育

このセミナーは 終了しました

セミナー申込用紙 セミナー名：ST130220(植物工場溶液栽培殺菌)

DM

会社名 団体名				〒
部署・役職				
ふりがな				
氏名	住所			
TEL	FAX			
E-mail	*申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。			
無料E-mail案内(書籍・イベントの最新情報)を <input type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない <input type="checkbox"/> 登録済 *E-mailアドレスが必須です。				
通信欄	支払方法 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 当日現金 ※銀行振込の場合は振込予定日を記載ください 月 日			

※左記ご記入の上、**FAX 03-3261-0238**までお申込みください。
 ※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

■お申込み方法

必要事項をご記入の上、FAXでお申込みください。
 または当社ホームページからお申し込みください。

■受付完了のご連絡

受付完了後、3営業日以内に請求書、受講券、会場案内図を郵送いたします。

■お支払

銀行振込にてお願いいたします。
 受講料のご入金は、開催日までお願いいたします。やむなく開催日以降にご入金の場合は、当日現金でお支払またはお申込みの際に振込予定日をご記入ください。
 銀行振込の場合、領収証の発行はいたしません。

■個人情報の取り扱い

ご記入の個人情報は、商品の発送、事務連絡、ご案内等に使用いたします。